

サステナビリティ貢献製品

積水化学グループは本業である事業・製品を通じてSDGsをはじめとする社会課題解決への貢献を高め、地球・社会のサステナビリティ向上とともに当社グループとその製品、製品を使用されるお客様すべてのサステナビリティを向上させるためにサステナビリティ貢献製品の創出と拡大に取り組み、企業としての成長を目指しています。

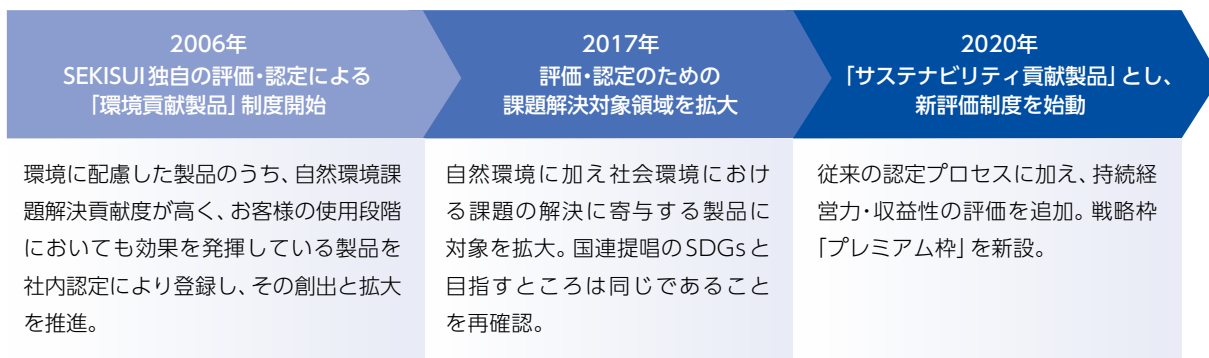
サステナビリティ貢献製品の概念



プレミアム枠製品代表例
 ZEH仕様住宅(住宅)、FFU(環境・ライフライン)、
 HUD×遮熱中間膜(高機能)、血液凝固・POCT・原薬(メディカル)

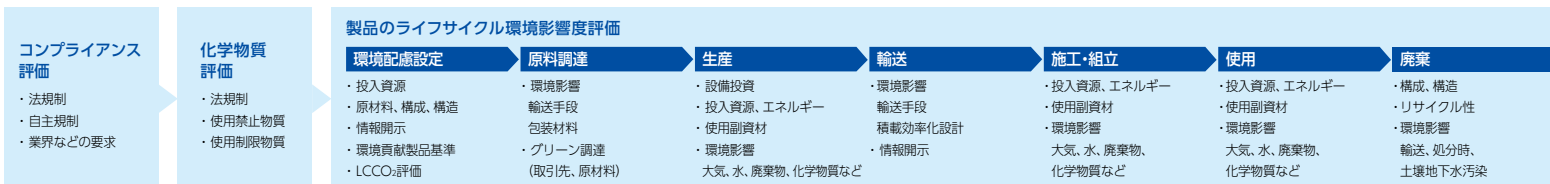
2020年から従来の「環境貢献製品」制度を「サステナビリティ貢献製品」制度へと進化させ、サプライチェーン全体にわたり、収益性、プロセス評価、内部統制などの観点から持続性確認評価を実施しています。また収益性向上と課題解決への貢献とを両立する製品を戦略的に拡大していくために「プレミアム枠」を新設しました。

貢献製品評価制度の進化

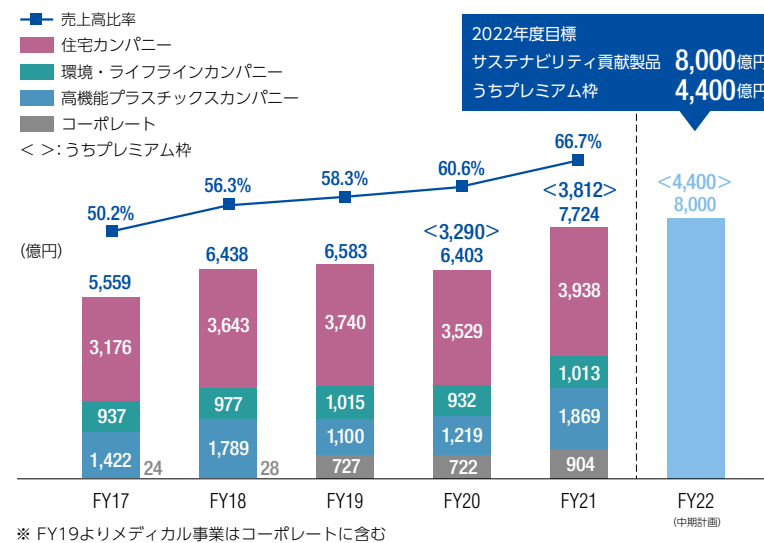


製品環境影響評価の実施

積水化学グループでは、製品の企画・開発時に、製品のライフサイクルすべての段階で、環境影響評価を実施しています。これを前提とし、上市后、サステナビリティ貢献製品の認定に関しては、社内基準をもとに社会課題解決への貢献度の判断を行っています。



サステナビリティ貢献製品の売上高・売上高比率

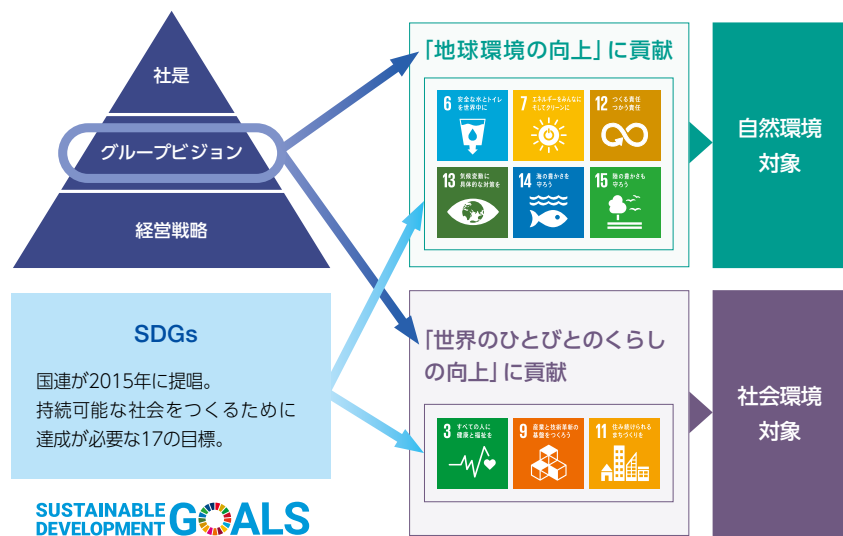


持続性確認評価

内部統制 企業に深刻な影響を及ぼす事故や災害に対応できるよう、安全、環境、品質、コンプライアンス、人権などに配慮した事業計画や体制ができていないか。	顧客満足度 製品を使用するお客様が、その品質やサービスにどのような魅力を感じ、どのくらい満足し、どのような要望をもっているか。
サプライチェーンマネジメント 自社のみならず、製品に関わるサプライチェーンを通じて企業に深刻な影響を及ぼす事故や災害などの発生を抑制する仕組みや体制ができていないか。	収益性 事業としての成長性、ポテンシャルはどのくらいあるか。

参考 サステナビリティ貢献製品の認定

サステナビリティ貢献製品の定義



社会環境対象のサステナビリティ貢献製品の認定基準

案件ごとに際立ちの加点要素を検討し、貢献度の高さを判断して認定しています。

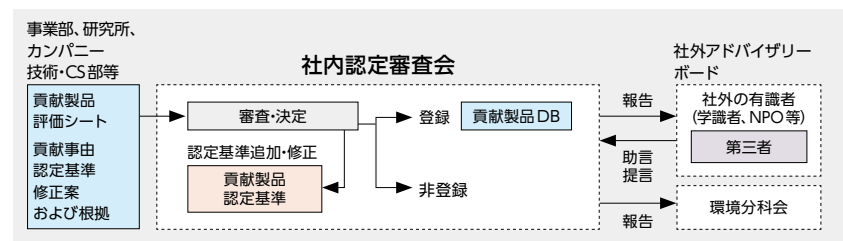
カテゴリー	対応方法(例)
健康寿命の延長	病気蔓延の予防(病気の発見・予防)
	高齢者、介護対象者の自立支援
	障がい者の自立支援
	介護する人間の負担軽減
	快適・衛生性の向上
	健康習慣の啓発
	災害リスクの緩和
	サプライチェーンを含む労働環境改善
	インフラの開発、提供
	災害および緊急時の対応強化
社会インフラの強靱化	災害および緊急時対応強化
	低所得国対応
	持続可能な都市と居住
暮らしの安全性と災害耐性強化	居住、生活の持続可能性を向上
	生活の安全性向上
	居住、生活の快適性向上
	地域活性化

自然環境対象のサステナビリティ貢献製品の認定基準

課題カテゴリー、解決に資する対応方法ごとに定めた認定基準に基づいて、認定の判断を実施しています。

カテゴリー	対応方法(例)
GHG排出量削減	省エネ性能の向上
	未利用エネルギーの利用
	フロンガスの代替
	製品のライフサイクル中での削減
	非化石資源由来プラの使用
廃棄物削減	創エネ・蓄エネ機能
	都市空間のエネルギーマネジメント
	お客様の製造工程における削減
原材料削減	耐久性向上(長寿命化など)
	低量廃棄物工法の採用
節水・水循環	端材、不良、不要物の削減
	資源の節約
汚染の防止	再生資源の利用(他製品の廃材)
	自社回収の水平リサイクル
生物多様性の保全	上水利用量の削減
	用水利用量の削減
	漏水の削減
	雨水浸透による水循環
	浄化による汚染防止
	低VOC化
	森林認証材の使用
	間伐材の利用
	生分解性原料の利用
	表土流出の防止
砂漠化の防止	
湿地の保全	
緑化の推進	
海洋・河川汚染の防止	
種・遺伝子の保全	
防災・減災	災害時に耐性があるもの
中間素材・資材類	原材料・部材・資材として、環境負荷低減に貢献

サステナビリティ貢献製品制度の運用・認定方法



社内認定審査会:ESG経営推進部を中心としたコーポレート各部で構成

サステナビリティ貢献製品は、自然環境および社会環境の課題解決に対する貢献度が高い製品であり、社内基準をもとに認定登録を行っています。その基準および考え方やその結果の妥当性に関して、産官学のさまざまなバックグラウンドを持つ社外アドバイザーよりご意見、アドバイスをいただくことで基準の高さや透明性を担保しています。

新規登録製品の自然環境・社会環境貢献に対するの意義や表現方法についてのアドバイス、EUタクソノミーでも求められている複数課題への配慮の充足性の確認などをベースとした製品制度の進化や方向性についてもアドバイスをいただいています。

社外有識者メンバー ※ 敬称略

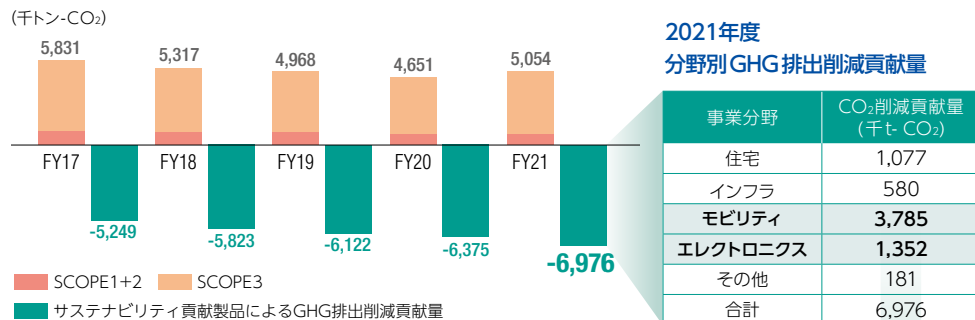
氏名	所属・役職	専門分野	期待する役割
谷口 正次	資源・環境戦略設計事務所代表	・企業での経営者としてのご経験 ・資源を主軸とした環境戦略に通じ、早くより自然資本経営を唱えた第一人者	自然資本など経営や製品ポートフォリオに対するご意見、アドバイス
滝澤 寿一	(特非) 共存の森ネットワーク理事長	・農学博士としてのビジネスでのご経験 ・NPO 法人理事長として、日本や各国の環境NPOと森づくり、地域づくり、人づくりの活動を実践	「三方よし」の精神に基づく、社会課題解決ビジネスに対するご意見、アドバイス ネイチャー・ポジティブ視点でのご意見
壁谷 武久	(一社) サステナブル経営推進機構専務理事	・経済産業省での官の立場でのご経験 ・LCA 評価、地方創生支援など環境価値を通じた社会変革の活動を推進	ライフサイクル視点でのご意見、環境価値に対する規制やグローバル動向に基づいたご意見、アドバイス

氏名	所属・役職	専門分野	期待する役割
大石 美奈子	(公社) 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 代表理事 副会長	・消費者や消費者の要求についての知見やご経験 ・消費者と企業、行政をつなぐ活動を推進	製品を使う立場からの要望や期待、懸念点などを踏まえたご意見、アドバイス
斎藤 正一	日経BP社 ESG 経営フォーラム 事務局長	・メディアでのご経験 ・サステナビリティ全領域に対するグローバルな動向把握と発信	ESG 経営におけるリスクやチャンスに対する今後の動向や包括的な視点でのご意見
吉高 まり	三菱UFJリサーチ&コンサルティング 調査開発本部プリンシパル・サステナビリティストラテジスト (一社) パーチュデザイン代表理事	・金融機関における ESG 投資についてのご経験 ・SDGs、グリーンビジネス、気候変動ファイナンスの第一人者	金融の立場から見た企業価値や ESG 経営、グリーンビジネスにおけるリスクやチャンスに対するご意見、アドバイス

サステナビリティ貢献製品



企業活動のGHG排出量とサステナビリティ貢献製品によるGHG排出削減貢献量



※ サステナビリティ貢献製品によるGHG排出削減貢献量の算出については、比較対象となる汎用製品を設定し、LIME2の考え方を活用した計算システム [MILCA] によって対象製品との差分を削減貢献量として算出。SCOPE1+2+3の算出方法の詳細は ▶ [サステナビリティレポート](#) をご参照ください。

モビリティ分野、エレクトロニクス分野

お客様の製品の製造段階や製品使用段階でGHG排出量削減に寄与。生産工場での使用電力の再エネ化推進、原材料の資源転換でさらに貢献を拡大していきます。

モビリティ分野

車輻軽量化や遮熱性能で燃費削減し、CO₂削減

- ・遮音・遮熱中間膜
- ・車輻用床材 Alveosoft など



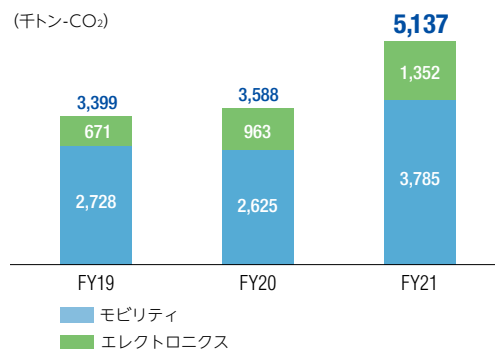
エレクトロニクス分野

省エネ型製品の性能実現に寄与し、CO₂削減

- ・マイクロパル
- ・導電性微粒子
- ・白色レジスト
- ・UVシール材
- ・放熱材など



モビリティ分野、エレクトロニクス分野のGHG削減貢献量は年々拡大



製品の耐久性を向上させ、ライフサイクルにおけるCO₂削減

- ・フォームテープ
- ・LCD部材固定用両面テープ など

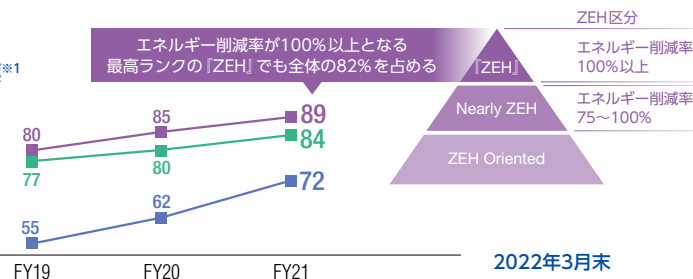


住宅

いち早く環境問題に取り組み、1997年に太陽光発電(ソーラー)搭載住宅の発売を開始。2012年には太陽光発電、HEMS (Home energy management system)、蓄電池搭載住宅で、「創・省・蓄」エネで貢献。大容量蓄電池と大容量ソーラーで、できるだけ電気を買わない、先進の暮らしを提案しています。

スマートハウス関連指標※1

- ZEH比率(%)
- ソーラー搭載比率(%)
- 蓄電池搭載比率(%)



2022年3月末
ソーラー搭載住宅販売
累計約23万棟



※1 戸建受注における搭載比率

<参考>※当社調べ	2019年度	2020年度	2021年度
パネル設置面積	374,000m ²	360,000m ²	400,000m ²
パネル設置容量合計※2	50MW	50MW	60MW

※2 パネル設置容量は累計で1,250MW以上となり、これによる年間総発電量は人口50万人規模の都市での年間電気エネルギー消費量に相当

▶ 詳細は <https://www.sekisuiheim.com/info/press/20220425.html>

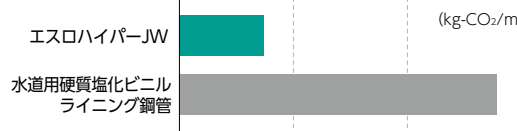
さらにスマートハイムでんき事業による再生可能エネルギーの有効利用促進や、住宅をアップサイクルして循環させる買取再販ブランド「Beハイム」によりサステナブルな循環型社会の構築に貢献していきます。



インフラ

オール樹脂化により原料から生産時までのライフサイクルにおけるCO₂削減や道路の非開削工事を実現する管路更生SPR工法などによる廃棄物削減などで環境負荷低減に貢献しています。

参考イメージ 高性能ポリエチレン管「エスロハイパー」のライフサイクルにおけるCO₂排出量



※ 金属管については、公開されている情報から類推した参考値であり製造プロセスのデータ収集は行っていません。
※ 材質・製品別のCO₂発生量は産業技術総合研究所、サステナブル経営推進機構「IDEA v2」の影響評価係数(GHG排出原単位)引用

サステナビリティ貢献製品

災害に強いインフラ・都市・居住環境や通信環境の提供

社会インフラ強靱化と安心・安全なライフラインの普及促進

上下水道、農業、電気など社会インフラにおいて、老朽化や防災、減災、労働力不足対策等の社会課題に貢献する製品や工法を展開しています。また航空・鉄道など輸送インフラ分野においても、軽量、高耐久、高強度な資材を提供し、安心・安全なライフラインの構築に貢献します。



耐震性能の給水用ポリエチレン管



下水管などインフラ老朽化に貢献するSPR工法



雨水貯留管としても活躍する強化プラスチック複合管



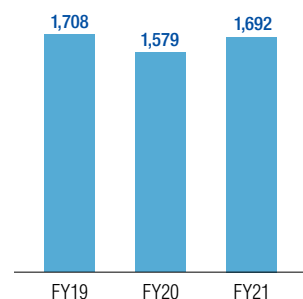
豪雨対策に貢献する雨水貯留システム



耐水性・耐久性に優れた鉄道向け合成分まくらぎ

水関連事業の売上高推移

(億円)



集中豪雨対策などに貢献する大型高排水システム



建物用耐火性硬質塩ビ管



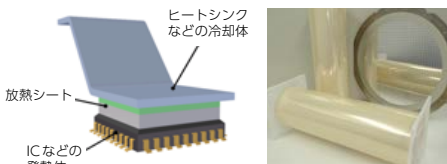
飲料水貯留システム



不燃材料認定ウレタン系現場発泡断熱材

情報インフラ強靱化

5G発展にともなって重要視されている関連部品の耐久性、機能向上に寄与する製品で、ICTの高度化に貢献します。



高熱伝導放熱シート MANION
高速通信・高密度半導体の技能発揮に貢献

半導体工程材料セルファ
高密度・極薄ウェハの実現に貢献

スマート&レジリエンスな住環境の提供とまちづくり



高度に工業化されたユニット工法で高い耐久性と災害に強い構造を持つセキスイハイム



新大容量蓄電池 [e-PocketGREEN]
大容量でコンパクト、室内設置が可能な蓄電池

全邸蓄電池搭載のZEH仕様住宅「セキスイハイム」に加え、豪雨対策に貢献する雨水貯留システムや断水時にも数日分の飲料を確保できる飲料水貯留システムなど、災害に強い積水化学グループのインフラ資材を結集したスマート&レジリエンスな「まちづくり」を日本全国へ展開しています。

当社グループのインフラ技術を活用



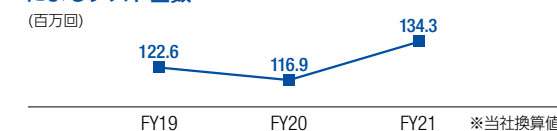
健康・長寿社会を支える

病気の早期発見に貢献

糖尿病・感染症等の各種臨床検査薬や分析装置、プラスチック採血管などの製品群で疾病や感染症を早期に発見し、健康的な生活をサポートします。



【参考】生化学(HDL,LDL)、糖尿病、POCT領域の当社検査薬によるテスト回数*



介護対象者、介助者の負担を軽減



自立支援介護設備大型ユニットバス



介護向け離床・起き上がりセンサー

暖差リスクの少ない暮らしを提案



住宅用換気・空調システム 快適エアリー



ウイルス除去効果が約1か月持続するウイルス除菌スプレー